

がんばれ 認定農業者!! シリーズ㊼

さつま町神子
くりまき しんいち
栗 牧 伸 一 さん 53歳



栗牧さんは、2ヶ所に分けた26aのハウス内で高設栽培と土耕栽培の2つの方法を用いて、イチゴを生産されています。イチゴの栽培を始めて25年目。手間暇かけて育てた品質の良いイチゴを11月下旬から6月上旬まで長期的に収穫していきます。就農以前は、大阪の青果卸売市場で仲買人に青果物を売るセリの仕事をしていたそうです。栗牧さんは、イチゴ栽培が盛んな頃に比べると、生産者の高齢化や後継者不足、離農者が増えて、イチゴ部会全体で、まとまった量が確保できなくなったとイチゴ農家の苦悩を話します。これまで、販売促進につなげてきた川薩地区で取得した県のブランド指定も外されたそうです。栗牧さんは「今は本当に厳しい時期を迎えていますが、現状を維持しながら明るい展望をもって、意地でもやってみせるという気持ちと根性で続けていきたいものです。農業は、自分の考えでやっていけることが魅力ですから」と話されました。

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

さつま町内の、激特事業に関する進捗状況などについて、お知らせします。

1. 激特事業の状況と今後の予定について

用地等調査については、現在、虎居地区を含むさつま町内全13箇所（山崎橋関連を除く）全てを平成21年2月末で完了しています。また、現在、用地等調査を完了させた11箇所において用地協議中であり、用地取得が完了した箇所より逐次工事を実施していくこととしています。なお、大願寺地区及び市場地区におきましては、関係者の方々の多大なるご協力のもと、用地の取得が完了しています。

2. 激特事業工事箇所

- ・二渡地区（山崎大橋上流側築堤約900mの内600m）H20年3月末完成
- ・大願寺地区においては、平成21年度末の完成を目的に築堤工事を実施しています。
- ・現在、推進分水路箇所においては、埋蔵文化財調査をH21年8月を目的に実施しています。また、分水路開削に伴う掘削土砂の運搬用通路として川内川に2箇所の仮橋設置が概ね完了したことから、今後、掘削工事に着手します。
- ・穴川橋架け替えに伴う現橋梁の撤去が完了しました。現在、橋梁の橋台設置に伴い、町道佐志駅穴川線が通行止めとなっています。工事期間中の通行などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、新穴川橋は、平成22年4月上旬の開通を予定しています。

3. 鶴田ダム再開発事業の進捗について

平成20年度に引き続き工事用道路の整備を行い、平成22年3月までに鶴田ダムまでの完成を目指します。

4. さつま町の川づくりについて

川内川河川事務所では、河川整備を進めるにあたり、地域住民やNPOなどとの意見交換を行い、川内川の将来像の構築や地域と協働による維持管理などを踏まえた河川の利用・活用のあり方を語り合い、次世代に誇れる地域連携・参加型の川づくり「川内川まちづくり懇談会」を進めていきます。

現在、「さつま町地域川まちづくり懇談会」を2回開催しており、今後、激特事業のみならず、河川事業全般において地域のニーズに併せて当懇談会を開催していくこととしています。

今後とも河川事業におけるご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 国土交通省 川内川河川事務所 調査課 課長 竹下真治
開発工務課 課長 樋口俊二
☎(0996) 22-3271
宮之城出張所 ☎(0996) 53-1756 宇都 薫

立派な自衛官を目指して さつま町自衛隊入隊者壮行会



今回、自衛隊に入隊した關大海さん、田原将多さん、竹中舞さん（左から）

町と町自衛隊父兄会の主催による平成21年自衛隊入隊者壮行会が3月6日、役場で行われました。壮行会で、入隊者の關大海さんは「今日の壮行会を忘れることなく、さつま町を代表するという気持ちをもって、立派な自衛官になれるよう頑張ります」とお礼を述べました。平成21年の入隊者は、次の方々です。（敬称略）

- 海上自衛隊 佐世保 佐世保教育隊 關 大海（薩摩中央高校卒・虎居町）
- 陸上自衛隊 えびの 第24普通科連隊 田原 将多（入来商業高校卒・久富木町）
- 相ノ浦 第3教団佐世保 竹中 舞（鳳凰高校卒・木波）

表彰状を持つ上別府ユキ会長（右）と表彰楯を持つ岩元友江副会長（左）



全国子ども会で表彰
永野区子ども会育成会
全国子ども会育成中央会議・研究大会が2月13日から15日にかけて、広島市で開催され、永野区子ども会育成会が全国子ども会連合会長表彰を受賞しました。これは、少子高齢化により単位子ども会の活動が困難になる中、区子ども会育成会を結成し、南方神社の清掃活動、六月灯、鬼火たきなどの活動を区全体で実施し、子ども会活動を活性化することが高く評価されたものです。

コミュニティづくりで表彰
中津川区公民館
鹿児島県コミュニティづくり推進大会が2月6日、鹿児島市で開催され、中津川区公民館が優良団体表彰を受賞しました。これは、金吾様踊りなどの伝統芸能の継承やイルミネーションなかつこなどのイベントの実施と共に、地元産の焼酎やカレンダーづくりなど、区民総参加型による地域づくりの取り組みが高く評価されたものです。



表彰状を持つ米森十一公民館長



公民会合併調印式の様子

公民会合併調印式
新公民会名「武白猿公民会」
武公民会（75世帯139人）と白猿公民会（18世帯38人）の合併調印式が2月28日、武公民館（薩摩地域中津川地区）において、関係者立会のもと行われました。平成21年4月1日から新しい公民会「武白猿公民会」として公民会活動を開始します。これにより、平成21年度の町内の公民会数は142公民会となります。